

市内でRSウイルス感染症が流行しています

例年、秋～春にかけて流行がみられるRSウイルス感染症ですが、すでに全国的に多くの患者が報告されており、群馬県内でも患者数が急増しています。

前橋市内の保育施設においても主に2歳児以下の園児で、患者または感染の疑われる方が報告されており、注意が必要です。

1 概要

・A 保育施設	7月2日(金)～7月8日(木)	27人
・B 保育施設	7月6日(火)～7月12日(月)	39人
・C 保育施設	7月6日(火)～7月12日(月)	11人
・D 保育施設	7月7日(水)～7月13日(火)	19人

※施設の初発生から1週間以内に発症の報告があった園児の合計人数

2 保健所の対応

- ・施設への調査の実施。
- ・施設に対し園児、職員の健康状態の報告、感染拡大防止対策（手指消毒の徹底、マスク可能な園児及び職員のマスク着用の励行、高頻度接触面の消毒の継続、定期的な換気）を依頼。

3 RSウイルス感染症について

- ・生後1歳までに半数以上が感染し2歳までにほぼすべての幼児が一度は感染します。
- ・感染経路は飛沫感染、接触感染です。
- ・潜伏期間は2～8日で主症状は発熱、鼻水、咳、のどの痛みです。
- ・初めて感染発症した場合は、重くなりやすいと言われています。
- ・重症化すると喘鳴、咳込み、呼吸困難等の症状がおこり、細気管支炎、肺炎に進展します。
- ・幼児期の再感染の発症は多く見られますが、その多くは軽症です。

4 市民への周知、啓発

市ホームページやフェイスブック等において下記事項を周知、啓発していく。

- ・手洗いを励行しましょう。
- ・日常的に触れるおもちゃ、手すり、ドアノブ、スイッチ、コップなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤で消毒しましょう。
- ・RSウイルス感染症と気づかれない子どもや大人が存在するため、咳などの症状があるときはマ

スクを着用し飛沫感染を防ぎましょう。

- ・人混みを避けましょう。

本件に関するお問い合わせ先

保健予防課 感染症対策係

電話 直通 027-220-5779